

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立本城リサイクル工房	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市八幡西区洞北町 7-1 0		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <u>完全利用料金制</u>		
		インセンティブ制 有・ ☐	ペナルティ制 有・ ☐	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会		
	所 在 地	北九州市戸畑区沖台二丁目 4 番 8 号 育成会会館 3 階		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（就労継続支援（A 型））の管理運営。		
指定期間		令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント						
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み						
(1) 施設の設置目的の達成						
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。						
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。						
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。						
[所 見]						
【利用率】 (単位：％)						
年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
目標値	109	109	109	109	109	109
実績	105.8	107.5	103.2	104.4	106.6	107.2
※利用率算出方法：延べ利用者数÷（定員×開所日数）						
※ 対象年度（以下、同じ）						
【月平均賃金額（就労継続支援A型）】 (単位：円)						
年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
実績	154,891	145,410	147,725	153,665	160,101	162,023
①③・利用者の維持・定着に努めており、利用率及び月平均賃金額は増加している。事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。						
①・隣接する本城かんびん資源化センター業務に関連する安全衛生研修への参加やペアによる「指差し呼称」や「安全保護具のチェック」のほか、利用者の高齢化や身体機能低下への対策として、朝礼後にラジオ体操やロコモ体操を行うなど転倒予防や腰痛予防に努めている。また、市環境首都検定の資格取得の支援を行い、作業技術や職場環境に関する知識・スキルの向上に努めている。						
②・広報紙を毎月1回発行するほか、ホームページを随時更新し、事業所の取り組みや利用者の活動の様子を関係者や団体・地域の方へ情報提供している。						
③・就労継続に向けて、障害者仕事サポートセンターや相談支援事業所、複数の関係機関と連携を図って適切な支援を行っている。毎月1回15分程度の個別面談を行い、利用者の目標の進捗確認やニーズの把握等を行い、就労の継続に繋げている。						
・従業員である利用者の高齢化に伴い、嘱託医及び看護師による健康相談や口腔検診を実施して、利用者の健康維持に努めている。						
(2) 利用者の満足度						

①	利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。					
②	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。					
③	利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。					
④	利用者への情報提供が十分になされたか。					
⑤	利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。					
⑥	その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。					
[所 見]						
施設の総合評価						
【満足度】(単位：％)						
年度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R6 年度
目標値	85	85	85	85	85	85
実績	82	69.5	84.1	79.4	81.9	82.4
①・アンケートの結果、施設の各サービスの「良い」、「まあまあ良い」を合わせた評価は、82.4％と目標値には届いていないが改善傾向にある。						
②・部会活動を行い、利用者の役割・責任を明確にして業務への主体的参加を図っている。また、部会の中で意見や要望を把握し、サービスの向上につなげている。						
③・法人として苦情解決制度を設けているほか、施設としても利用者から出された意見や苦情等に対して適切に対応している。						
②③・個別支援にかかる利用者との面談（年2回）に加え、毎月1回15分程度の個別面談を行い、利用者間のトラブル等に関しても早期解決できるよう支援を行っている。						
⑤・市民センター文化祭への参加やアウトレットモール、スペースラボの訪問など、地域との交流や利用者の生活の質の向上に努めている。						
・自己目標達成支援の一環として「北九州環境首都検定」の学習支援を継続するとともに、利用者が個別に取り組んでいる漢字検定の支援も行い、5名が受験し、1名が合格するなど、利用者の生きがいや達成感、就労意欲の向上に努めている。						

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等						
①	施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。					
②	清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。					
③	経費の効果的・効率的な執行がなされたか。					
[所 見]						
【光熱水費】(単位：円)						
年 度	【参考】R2 年度 (更新前)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R6 年度

予 算	279,000	280,000	232,000	216,000	216,000	216,000
決 算	210,009	211,280	190,342	190,746	192,277	187,105

①③・指定管理者においてISO14001認証を取得し、業務において環境に優しい活動を実践する中で経費削減に努めている。

- ・エコアクション21の目標達成に向け、「二酸化炭素排出量削減（電力使用効率や軽油使用効率の向上）」、「資源化率の向上」、「廃棄物総排出量の削減」、「総排出量の削減」、「事業所周辺の清掃」、「安全と健康に対する取り組み」を強化している。

②・清掃業務や警備業務、食事サービス等の委託業務では、入札の実施等により経費の削減に努めている。

（２）収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

〔所 見〕

- ・提供するサービスは、障害者総合支援法に基づく法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫の余地がない。

３ 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

（１）施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
- ④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。

〔所 見〕

- ①④・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。
- ②・職員の業務習得及び能力開発に関し、目標管理に基づいた育成を計画的に行うとともに、研修の活用により、職員の資質・能力の向上を図っている。
- ③・「市民いっせいのまちの美化の日」や「洞海湾を守る会」の活動（絶滅危惧種「シバナ」の保全活動）に参加している。
- ・学校等からの体験学習の受け入れを行い、障害者や施設の業務内容の理解促進を図っている。
 - ・介護体験等で大学生（１７名）を受け入れ、将来の社会福祉の人材の育成に貢献している。

（２）平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。

⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。

⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所 見】

- ①②・利用者の個人情報保護や事故防止、人権、虐待防止に関する研修を行うなど、適切な運営に努めている。
- ⑤・業務に関する安全研修やメンタルヘルス研修、熱中症予防研修等を実施し、利用者の安全衛生や健康に対する配慮に努めている。
 - ・危機管理体制を整えており、「ヒヤリハット」の速やかな対処と職員間の情報共有など、事故に対する意識向上に取り組んでいる。
 - ・従業員の安全で快適な職場作りを目指して職場内で安全教育を実施し、「労働災害ゼロ」を目標に職場の安全維持に努めている。
- ⑥・防犯強化の取り組みでは、監視カメラの設置や避難誘導訓練を実施するとともに、防犯マニュアルを作成し、職員への周知を図っている。
- ⑦・感染症対策に加え、熱中症対策として、熱中症指数モニターで暑さ指数（WBGT値）を計測し、休憩時間の調整や、水分・塩分補給の確認を行っている。

【総合評価】

【所 見】

- ・事業計画に沿って、通所施設の適切な運営管理を行っており、利用者の障害特性やニーズに応じたサービス提供に努めるとともに、利用者からの一定の満足度も保っている。
- ・かんびん資源化センター業務に関連する安全衛生研修への参加やペアによる「指差し呼称」や「安全保護具のチェック」のほか、利用者の高齢化や身体機能低下への対策として、朝礼後にラジオ体操やロコモ体操を行うなど転倒予防や腰痛予防に努めている。
- ・就労継続に向けて、障害者仕事サポートセンターや相談支援事業所などと連携を図って適切な支援を行っている。
- ・指定管理者においてISO14001認証を取得し、業務において環境に優しい活動を実践する中で経費削減に努めている。
- ・エコアクション21の目標達成に向け、「二酸化炭素排出量削減（電力使用効率や軽油使用効率の向上）」、「資源化率の向上」、「廃棄物総排出量の削減」、「総排出量の削減」、「事業所周辺の清掃」、「安全と健康に対する取り組み」を強化している。
- ・「市民いっせいのまちの美化の日」や「洞海湾を守る会」の活動（絶滅危惧種「シバナ」の保全活動）に参加するなど、地域貢献としての取り組みを継続している。